とっとり未来創造プロジェクト
挑戦 Challenge

誰もが経験する青春時代。今振り返ると、不思議なくらい不安はなかった。そういえば、あの頃の自分にはどんな未来が見えていたのだろう。
大好きな鳥取県をもっと輝かせるため、仕事に打ち込む2人に、県内高校生・高専生から寄せられた質問に答えてもらった。

鳥取ゆかりのあの人に

高校生・高専生からの質問に答えてもらいました!!

市来 秋果
Ichiki Shuuka

アナウンサー
NHK鳥取放送局

PROFILE
鳥取市出身。2021年NHKに入局。
定時ニュースや夕方のニュース番組「いろ★ドリ」のリポーターなどを担当している。

Q1 アナウンサーを目指した理由を教えてください。

鳥取のために働きたいという思いを、職業を決める上で最も大切にしていました。人口減少など地域の課題に対して何かしらの行動をしたいと学生時代から思っていました。大学生の時は地方創生フォーラムなどで自治体や地元企業の取り組みについて話を聴いたり、アイデアを出し合ったりしていました。
また、私が地元の話をすることで、友人が鳥取を訪れてくれたり、海外の人が鳥取に興味を持ってくれたりすることがうれしく、次第に自分が取材し発信することで鳥取に貢献できるアナウンサーという仕事を希望するようになりました。

Q2 テレビの仕事をしていく上で、今大切にしていることは。

アナウンサーとして、分かりやすく自分の言葉で伝えることを意識しています。ニュースには原稿がありますが、読み上げるのではなく自分の頭を通して情報を届けることを心がけています。取材を通して今必要とされている情報は何か、地域課題解決のヒントとなるような放送を目指しています。

Q3 高校生、大学生の時に頑張ったことを教えてください。

目の前のことに一生懸命取り組む学生でした。高校で好きな教科は英語で、アメリカからの留学生をホストファミリーとして受け入れるなど、国際交流に興味がありました。大学ではロシア語を専攻。1年間モスクワに留学し、ホームステイ先のおばあさんにロシア語で書かれた鳥取のパンフレットを見せながら、よく鳥取の話をしました。モスクワでの日本イベントなどにもパンフレットを持っていき、ロシア語で紹介しました。豊かな自然や食に関心を示す人が多く、帰国後は、もっと海外の人に鳥取の魅力を知ってもらいたい!という思いから鳥取じゅうを自分で撮影し、ロシア語字幕をつけて動画発信もしていました。当時からコンテンツ制作の楽しさを感じていました。

Q4 鳥取自慢をしてください。

自然との距離が近いことが自慢です。休日には海や山に行って過ごしています。また温泉も身近にあり、心身ともにリフレッシュできます。正直言うと、鳥取にしかないものを自慢することは難しいと思います。特別なものはないけれど、大切な人たちやなじみある豊かな自然に囲まれ、私らしくいられる場所が鳥取です。

Q5 将来やりたいことが見つかっていない高校生も多いと思います。そんな人たちにアドバイスをください。

私も高校生の時、将来やりたいことは分かりませんでした。分かるまで好きなことに注力しようと、特に焦ってもいませんでした。
私は高校生の頃から今もずっと日記を書き続けています。自分を客観視でき、意外と日記から発見できるものも多いんですよ!何気ない日々の記録から、自分が何を楽しいと思うのか、何を大切にしているのか、どんな目標があるかなど自分の新たな一面に気づくことができます。例えば、私がここまで鳥取大好き!と気がついたのは大学生の時。当時の日記には「鳥取に帰ると生き返る」「鳥取のために何かがしたい」と書いてありました。日記を書き続けてよかった!と思います。

平井 伸治
Shinji Hirai

鳥取県知事

PROFILE
東京都出身。東京大学法学部を卒業し、1984年に旧自治省(総務省)入り。99年7月から鳥取県総務部長、副知事を歴任。自治体国際化協会ニューヨーク事務所長などを務めた後、2007年4月の鳥取県知事選で初当選。現在5期目、62歳。

Q3 尊敬していた人は。

ヘレン・ケラーはその一人です。見えない、聞こえない、しゃべれないの三重苦を乗り越えて世界の社会福祉の指導者として活動し、尊敬を集めました。見聞の広い方で、全盲の国学者・塙保己一を尊敬し、日本でゆかりの地も歩かれています。世界、人類がやるべきことを見据えておられ、私自身ふがいなさを感じていましたが、ヘレン・ケラーの生き方などの影響を受け、民間企業でお金を稼ぐことより、人の役に立てることを細々でもやっていけたらと考えるようになりました。

Q4 公務員や知事の仕事で影響を受けた人はいますか。

公務員として社会人生活をスタートし、最初の赴任地は兵庫県庁でした。同県出身の島田叡(あきら)さんは、内務省官僚で太平洋戦争末期の沖縄県知事です。戦禍の中、一人でも多くの沖縄県民の命を助けようと奮闘し、摩文仁(まぶに)の地で消息を絶ちました。沖縄の人たちは、沖縄県民ではない彼を今も「島守(しまもり)」として敬愛しています。ある意味、命と引き替えにしても大切なものを守る覚悟が私たちの職業には求められていることを教えられました。

Q5 鳥取の若者に訴えたいことは。

We can do anything we want to if we stick to it long enough―。ヘレン・ケラーが残した言葉です。「あきらめないで粘り強く続ければ、どんなことでもかなう」、そんな意味が込められています。三重苦を乗り越え大きな仕事を成し遂げた彼女の言葉だけに重みがあります。夢は、かなえようと思わないとかなわないわけで、粘り強く自分なりに挑戦していくことで道は開けてくるのではないでしょうか。
鳥取県は高校生の皆さんを必要としています。進学、就職で一時的に県外に出ることはあるかもしれませんが、いずれ自分が生まれ育ったふるさと鳥取県で働いたり、家族を育んでいく未来も選択肢に入れていただきたいですね。

Q1 高校生の時、夢中になったことはありますか。

高校では演劇部でした。劇作家サミュエル・ベケットや安部公房など、少し難解な演目が好みの小さな演劇部でしたが、仲間のネットワークができたことが大きかったと思います。運動会も盛んな学校でした。開会式でエールというテーマソングを中1から高3までを縦割りにしたチームで歌い競い合うのですが、高3の時、曲創り、歌の指導を担当するチーフを務めました。結構いい歌ができ、全8チームの中で一番の前評判でしたが、投票で賞を取り損ね、責任を取って丸坊頭になった思い出があります。わずか3年の高校生。全力で打ち込むこと。その後に残る何かが見えてくるはずです。

Q2 大学生の時に打ち込んだことは。

ボランティア活動をしていました。1981年の第1回国際アビリンピックでは、通訳と障がい者の介助を兼ねたボランティアとして、各国の選手団を迎えました。私はタイのチームをアテンドするリーダーでした。意思疎通の手段として、視覚的、感覚的に理解できる手話の素晴らしさに最初に出合ったのがタイの手話です。英語と併用しながら、コミュニケーションを取っていました。障がい者のできないことにちょっとしたサポートを健常者が補い、一緒に生きていくことが世の中のエチケットだと、考えるようになりました。その思いは、そのまま「あいサポート運動」に。大学生の時の体験が本県の障がい者政策につながっています。

とっとり未来創造プロジェクト　―挑戦―　協賛企業・団体　私たちは若い世代の挑戦を応援しています

株式会社高野組
後藤工業株式会社
株式会社コミタ
山陰酸素工業株式会社
山陰信販株式会社
山陰石油株式会社
中海テレビ放送
TOHO Ajiso
鳥取銀行
社会福祉法人 鳥取県厚生事業団
鳥取信用金庫
社会福祉法人 鳥取福祉会
株式会社原商
日ノ丸産業株式会社
三朝館
美保テクノス株式会社
株式会社明治製作所
米久おいしい鶏 株式会社
一般社団法人 鳥取県トラック協会
鳥取県立歯科衛生専門学校
鳥取県理容美容専門学校
鳥取市医療看護専門学校
鳥取社会福祉専門学校
鳥取大学 Tottori University
ウミライ
株式会社エスジーズ
enetopia
懸樋工務店
株式会社きしき
グッドヒル
スーパーマーケット サンマート
JAとっとり西部
JCBエクセ
仁厚会・敬仁会
シンワ技研コンサルタント
中央印刷株式会社
トヨタカローラ鳥取
トヨタレンタリース鳥取
日本海ケーブルネットワーク
ネッツトヨタ鳥取
株式会社ハピネライフ一光
はまゆう 賛幸会
RICOH リコーITソリューションズ株式会社
RICOH リコーインダストリアルソリューションズ株式会社
RYUTSU 流通株式会社
エフエム山陰
公立鳥取環境大学
鳥取看護大学
鳥取短期大学
日南町産業振興センター にちなん中国山地林業アカデミー
日本海情報ビジネス専門学校
YMCA米子医療福祉専門学校
鳥取県

（順不同）